

(別表第1の4)

事業所名 グループホーム桃太郎

目標達成計画

作成日：平成 21年 9月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けに取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	10	利用者や家族等からの苦情・相談の対応は文書で説明しているが、具体的な連絡先の記載はない。	苦情や相談をしやすいとする。	苦情や相談の窓口の具体的な連絡先を記載した文書を作成し、玄関に掲示すると共に、各利用者家族あてに送付。(このような文書を作成した理由等の説明文も同封)運営推進会議においても、説明。	1 か月	現在のところ、苦情や相談は第三者に向けてはないようであるが、具体的な連絡先を明記したことで、より開かれたグループホームを印象付けられたようである。
2	35	毎月の避難訓練や、年2回の消防訓練は実施し、運営推進会議等で、災害時の避難援助に協力を依頼しているが、地元住民が避難訓練に参加するまでには至っていない。	地元住民の参加のもと、消防訓練を実施し、災害時より具体的な援助が得られるようにする。	6月と12月に予定していた消防訓練を10月に前倒して実施。気候の良い、4月と10月の実施に変更する。運営推進会議の中で実施することにより、地域住民の参加も呼びかける。	3 か月	平成21年8月30日開催の、「桃太郎会」(平成21年度第3回運営推進会議)において、外部評価の結果を報告し、消防訓練についても左記に変更することを説明。同意を得た。
3	4	運営推進会議の在り方につき、もっとグループホームに親しんでいただけるよう、名称、内容ともに見直す必要がある。	利用者、家族、地域に、もっと身近な「グループホーム」および「運営推進会議」にする。	7月に家族、地域住民対象のアンケートを取り、その回答をもとにスタッフで話し合い、名称(愛称)を「桃太郎会」とした。(正式名称は「平成〇〇年度第〇回運営推進会議」である)内容もアンケートの回答をもとに検討し、「消防訓練」「クリスマス会」「カラオケ大会」「ドライブ」「素麺流し(昼食会)」を計画している。	12 か月	平成21年8月30日開催の、「桃太郎会」(平成21年度第3回運営推進会議)において、アンケート結果と共に左記を公表し、参加者の賛同を得た。
4					か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告して下さい。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告して下さい。

(別表第1の5)

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他(看取りについて等、悩んでいたことを相談でき良かった。)
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()